

税の作文・標語 受賞者の紹介

税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的とした「税の作文」及び「税の標語」の入選作品が決定しました。今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、湯浅中学校の生徒のみで表彰式を行いました。

中学生 標語の部

【有田地方租税教育推進協議会会長賞】

「知らぬ間に 社会に貢献 消費税」

湯浅中学校一年 高野はな

【湯浅町長賞】

「ありがとう 税のおかげで 明るい日本」

湯浅中学校一年 竹森月紀

【公益財団法人納税協会連合会会長賞】

「税金への想い」

村田結香

【湯浅町長賞】

「当たり前」

横貫仁乃

標語の部に入選された生徒の作品については湯浅駅前標語の塔に掲載しています。

【有田納税貯蓄組合連合会会長賞】

「明るい未来を目指して」

坂下琴美

高校生 作文の部

【近畿税理士会湯浅支部長賞】

「税のありがたみ」

竹中亜紀

【感謝と大切な税金】

和歌山県立有田中央高等学校一年 芝妃茉莉

【私たちと税金】

大浦璃久

和歌山県立耐久高等学校一年 中村恵菜

【大桑教育文化振興財団理事長賞】

「税金はヒーロー」

宮本凛音

受賞された皆様、おめでとうございます。今回、受賞者の作品から、村田結香さんと横貫仁乃さんの作文を紹介します。

【税金について】

湯浅中学校一年 宮崎優笑



受賞者の集合写真



表彰状と記念品贈呈の様子

公益社団法人納税協会連合会会長賞 受賞

税金への想い

湯浅中学校三年 村田結香



私の住んでいる家の前には小さな砂浜がある。県道から少し入ったところにあるので知らない人も多い。しかし、ダイビングスポートや釣り場としては有名な場所だ。春先から秋にかけては、BQをして海で大騒ぎをするお客さんたちがやってくる。家へ帰る道は車が無茶苦茶に停められて困る。パトカーが巡回してくれるが効果が少ない。そんな多くの客のほとんどが、ゴミをあちこちに平気で捨てていく。それが腹立たしい。駐車場を管理するおじいさんや近所の人は「ゴミは、持って帰るなり、分別してゴミ袋に入れて所定の場所に捨てて下さい。」と声をかけてくれるけど、少し目を離した隙に捨てていくのだ。ひどい人は、BQセットやテントをそのまま捨てて帰るのだ。もっと悪質なのは砂に埋めることだ。そのようなゴミを砂浜から分別して持ち上げてくるのに汗だくになる。母は以前から、「余裕があればボランティアもできるけど、ずっとは続かんわ。」と、よく言っていた。母も近所の人もも五年十年、十五年経つと段々と手に負えなくなり、役場の環境課の方々が委託業者の方が清掃に来てくれるようになった。お陰で近所の人も助かっていなければ、結局、大切な税金から清掃

費用が支払われているのかと思うと悲しくなる。遊びに来た人達のマナーが良ければ、不要なお金はかからない。最近、岩場のあちこちにブルーベーンキで描かれた落書き（タギング）が見つかり、役場の人達、警察官、県の職員さんが来て騒ぎとなった。結局、自然公園ということでの県の管轄であるため、県から雇われた職人が岩場の落書きを消してくれた。私が腹立たしく思うのは、たくさん人が時間を割いて、職人に仕事をしてもらわないとならない。全て落書きした人のために多くの税金が使われている。しょうもない事をした人のために税金が使われるのはおかしいと思う。しかし、犯人が捕まらないのであれば仕方ないことなのだろう。コロナウイルスで仕事が激減し、生活に困っている人達や、熊本などの豪雨災害で困っている人々のために税金がたくさん使われるのであれば構わない。税金を正しく納めることは、一番大切なことだと思いが、無駄なことに使われないように全ての人が普段から心がけることも必要だと私は考える。本当に必要なところに税金が使われ、気持ちよく納税しようと思える社会になってほしい。

湯浅町長賞 受賞

当たり前

湯浅中学校三年 横貫仁乃



私達が納めた税は、私達の生活をいろいろな場面で支えてくれています。公立学校の教育費負担、病院の費用、ごみの収集、救急車など当たり前だと思っていたこれらの事が税金で使われていました。これを実感するようになったのは、最近の事です。社会の公民の授業で今まで分からなかった言葉が少しずつ理解できるようになった事が大きな理由の一つです。また、進学先を考える時期になったことも関係しています。いとこが大学進学の時期中、その時に母に「私立行かすお金ないから国立目指してよ。」と言われました。少しその事を調べてみると、国立大学と私立大学の学費は4年間で最低百万円の差があるそうです。この結果を知って、なぜ母が国立に行かせたいのかが分かりました。そして、ここに税金が使われているのだと思いました。小学一年生の頃、教科書がお金を払わずもえらったのびびくりしたのを覚えています。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、無償で支給されています。大切に使いましょう。」この意味が最近になって分かるようになってきました。これが当たり前じゃない事にも気づきま

した。これが分かるように、気づくようになったから私達は、小さな子供へ、下の世代に伝えたいといけないと思いませんか。日本では当たり前だけれど他の国では違うこと。この制度がありがたいこと。税金を払うことで国からたくさんのお金を助けてもらっていること。これらの事を伝えていく義務が私達にはあると思います。私は税の事について知っている方だと思っていました。しかし、この作文を書く事で、まだまだ知らないことばかりだと気づくことができました。また、私達が納めている税金が、巡り巡って私達の生活をより便利に、豊かにしているのだと実感する事ができました。私達が納めている税は、私達が知らない所で私達のために使われています。私達が一人で作れない公共施設や道などを、私達が納めている税で大きなお金として作ってくれています。この事を当たり前と思わず、感謝しないといけないと思います。そして、もっともっと税の使い道について広めていくべきです。当たり前だと思っていた道などが税のおかげだと気づき、感謝する事で社会全体が良い方向になっていくと思います。